



2007年6月期決算説明会



株式会社ブロードバンドタワー
大証ヘラクレス（コード番号3776）



平成19年8月22日



ご注意

本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点のものであり変更する可能性、及び本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。投資をする際には、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

2007年6月期業績概況・・・・・・・・・・・・・・・・ P.3

セグメント別：プラットフォーム事業・・・・・・・・ P.11

セグメント別：メディアソリューション事業・・ P.15

今後の事業展開について・・・・・・・・・・・・・・・・ P.17

2008年6月期業績予想・・・・・・・・・・・・・・・・ P.35

ご参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・ P.39

2007年6月期業績概況（連結）
2006年7月～2007年6月

業績ハイライト

中核事業のプラットフォーム事業の売上高は、前年同期比21.9%増の8,054百万円。収益基盤の安定化に大きく寄与。メディアソリューション事業はネットシネマ事業からの撤退や、Webマーケティング市場の競争激化により、売上高は前年同期比38.5%減の423百万円。この結果、当社グループの売上高は前年同期比16.2%増の8,478百万円。一方、データセンターの賃借料の段階課金終了*や、新規サイトの開設等によるコスト増等により、営業利益は前年同期比23%減の748百万円。

(*賃貸借契約時より一定期間ディスカウントされていたサイト賃借料が通常の賃料に戻る)

高付加価値サービスの投入

従来のデータセンターサービスに加え、仮想化技術を活用したホスティングサービスや、運用・監視サービスなどを投入し、高付加価値化を推進。今後もサービス開発力を高め、ユーティリティコンピューティングを目指す。

設置可能なラック数が420増加

BCP（事業継続計画）DR（災害復旧）対策、内部統制の強化としてデータセンターの需要が拡大。これに対応するため、都心の好立地にある第2サイト増床及び、関西で新サイトを開設。

2007年6月期業績概況

ブロードバンド化によるITビジネスの発展やデータ量の増大に伴いITサービスの需要が増加。これにより、運用受託やストレージなど、ソリューションサービスが伸長。また、収益基盤を支えるデータセンターも安定稼動。一方、データセンターの賃借料の段階課金終了*や、新規サイトの開設に伴うコスト増等により、営業利益は前年同期比23%減の748百万円。期中に修正した業績予想に対しては、データセンターの運用効率の見直しを図ることでアウトソース費用を削減し、経常利益、当期純利益ともに予想を上回る。（*賃貸借契約時より一定期間ディスカウントされていたサイト賃借料が通常の賃料に戻る）

運用受託、プロダクト販売、
スペースサービスが牽引

(単位:百万円)

	2007年6月期					前期実績		業績予想修正値	
	第1四半期 (06/07~06/9)	第2四半期 (06/10~06/12)	第3四半期 (07/1~07/3)	第4四半期 (07/4~07/6)	2007年6月期 (06/07~07/6)	2006年6月期 (05/07~06/6)	増減率	第8期 (06/07~07/6)	増減率
売上高	1,892	2,273	2,033	2,278	8,478	7,294	16.2%	8,510	-0.4%
売上総利益	394	575	378	384	1,732	1,786	-3.0%	-	-
営業利益	153	324	139	130	748	971	-23.0%	-	-
経常利益	153	324	92	126	697	950	-26.6%	640	8.9%
税金等調整前当期純利益	1,910	324	91	128	2,454	875	180.3%	-	-
当期純利益	1,910	-579	91	22	1,444	1,050	37.6%	1,400	3.1%

合意解約金計上

税務上の繰越欠損金解消
に伴う税金費用の増加

賃借料の段階課金終了*、サイト新設
及び増床によるコスト増

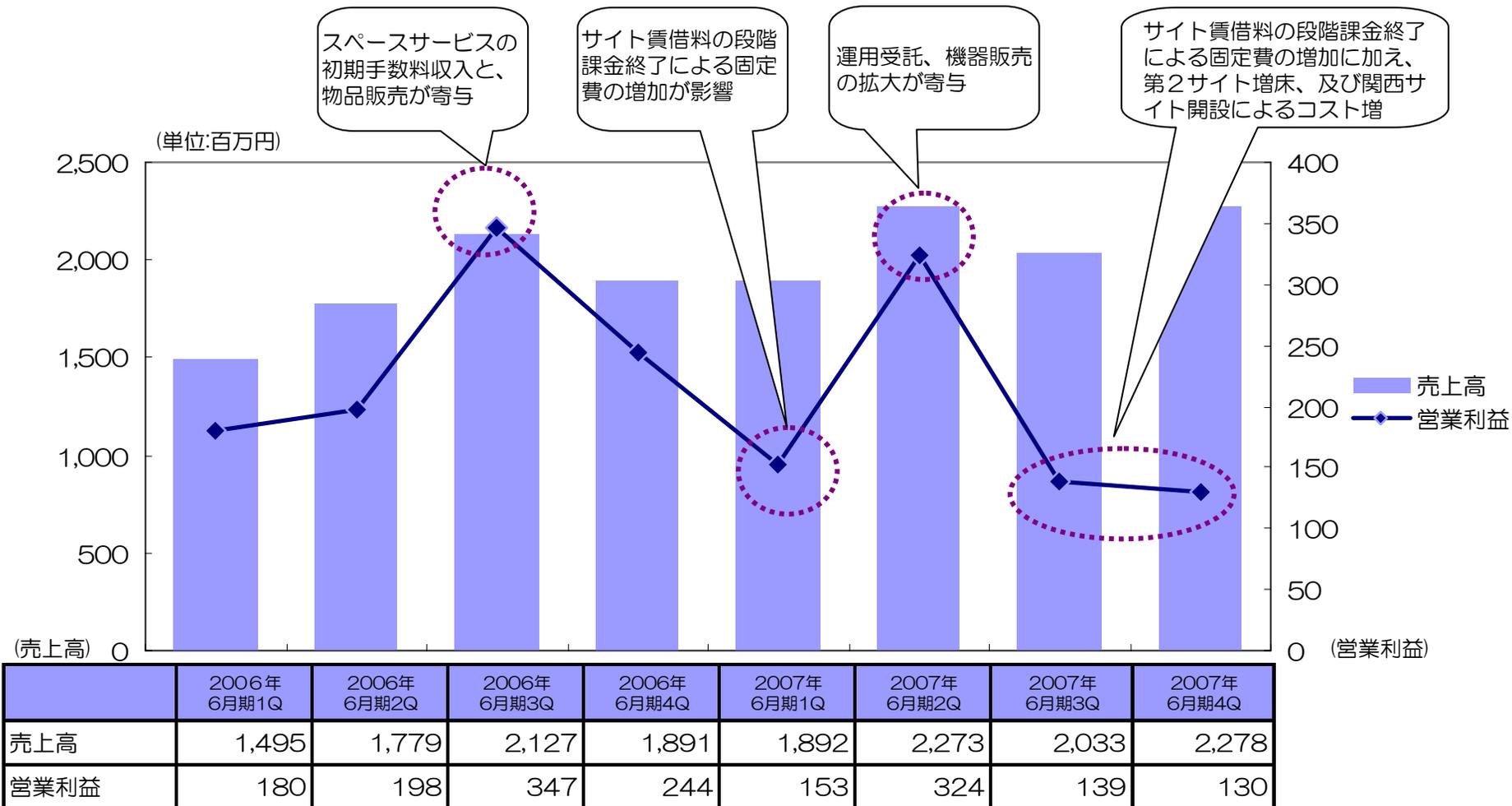
運用効率の見直しを図り
アウトソース費用を削減

売上高の主な増減要因

(単位:百万円)

	前期に対する当期の増減要因	金額
増加 要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ソリューションサービスの伸長 (運用受託、プロダクト販売) ・スペースサービス月額利用の累積 ※年間平均稼動ラック数(各四半期末のラック数で集計した場合) 2006年6月期 1,732ラック 2007年6月期 1,865ラック	+1,402 +542
減少 要因	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットシネマ事業からの撤退 ・スペースサービスの初期手数料が減収 	-456 -356

売上高/営業利益推移



2007年6月期 B/S



(単位:百万円)

	2007年6月期	2006年6月期		2007年6月期	2006年6月期
流動資産合計	4,366	3,375	流動負債合計	2,086	495
現金及び預金	1,781	2,127	買掛金	433	322
売掛金	1,048	779	未払金	77	67
有価証券	998	-	設備投資未払金	654	43
たな卸資産	147	7	未払法人税等	902	15
繰延税金資産	132	268	その他	17	46
その他	257	193	固定負債合計	1,023	33
固定資産合計	4,643	2,888	長期借入金	1,000	-
有形固定資産合計	3,983	2,432	長期設備投資未払金	23	33
建物	2,717	1,456	株主資本合計	5,886	5,731
機械及び装置	444	394	資本金	2,245	2,215
工具器具備品	821	582	資本剰余金	2,228	2,199
無形固定資産合計	110	30	利益剰余金	2,761	1,316
投資その他の資産合計	549	424	自己株式	△1,348	-
投資有価証券	257	157	新株予約権	11	-
その他	292	266	少数株主持分	1	2
資産合計	9,010	6,263	負債純資産合計	9,010	6,263

「有価証券」CPへの投資
「有形固定資産」関西サイト新設など

「未払法人税等」税務上の繰越欠損金の解消分
「長期借入金」「自己株式」自己株式の取得

営業活動による主なCF

(単位:百万円)

	2007年6月期 (06/07~07/6)	前期実績	
		2006年6月期 (05/07~06/6)	増減額
営業活動によるCF	2,539	1,059	1,479
投資活動によるCF	-1,588	-1,138	-449
財務活動によるCF	-300	1,990	-2,291
現金及び現金同等物の増加額	650	1,911	-1,260
合併受入に伴う現金同等物の増加額	2	-	2
現金及び現金同等物の期首残高	2,127	215	1,911
現金及び現金同等物の期末残高	2,780	2,127	652

税金等調整前当期純利益	2,454百万円
減価償却費	412百万円
売上債権の増加	-261百万円
たな卸資産の増加	-115百万円

投資活動による主なCF

有形固定資産の取得	-1,347百万円
関係会社株式の取得	-136百万円

財務活動による主なCF

長期借入金の借入	1,000百万円
自己株式の取得	-1,348百万円

2007年6月期 設備投資

約15億円を投じ、関西サイト開設及び第2サイト増床。BCPやDR対策の需要を取り込む。

(単位:百万円)

						前期実績	
	第1四半期 ('06/07~'06/9)	第2四半期 ('06/09~'06/12)	第3四半期 ('07/1~'07/3)	第4四半期 ('07/4~'07/6)	2007年6月期 ('06/07~'07/6)	2006年6月期 ('05/07~'06/6)	増減額
設備投資	115	769	496	583	1,965	662	1303
コロケーションサービス (スペース+ネットワーク)	83	※ 729	※ 476	575	1,865	-	-
ソリューションサービス	27	28	6	0	62	-	-
その他	4	11	13	8	37	-	-
減価償却費	99	103	102	107	412	362	50

※建設仮勘定を含む

主な設備投資内訳

- ・ 関西サイト開設費用 1,431百万円
- ・ 運用受託 206百万円
- ・ ネットワーク機器 72百万円(関西、第2サイト除く)
- ・ 第2サイト増床 59百万円

セグメント別
プラットフォーム事業



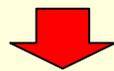
(単位:百万円)

						前期実績	
	第1四半期 (06/07~06/9)	第2四半期 (06/10~06/12)	第3四半期 (07/1~07/3)	第4四半期 (07/4~07/6)	2007年6月期 (06/07~07/6)	2006年6月期 (05/07~06/6)	増減率/増減数
売上高	1,821	2,160	1,932	2,139	100% 8,054	100% 6,605	21.9%
コロケーションサービス (スペース+ネットワーク)	1,431	1,465	1,442	1,438	72% 5,779	85% 5,622	2.8%
ソリューションサービス	390	694	490	700	28% 2,274	15% *注 982	131.6%
売上総利益	382	548	356	343	20% 1,630	24% 1,616	0.9%
稼動ラック数	1,850	1,867	1,857	1,887	1887	1,872	15

注：前期では「運用支援、その他サービス」



運用受託、プロダクト販売の拡大、スペースサービス利用の
累積。

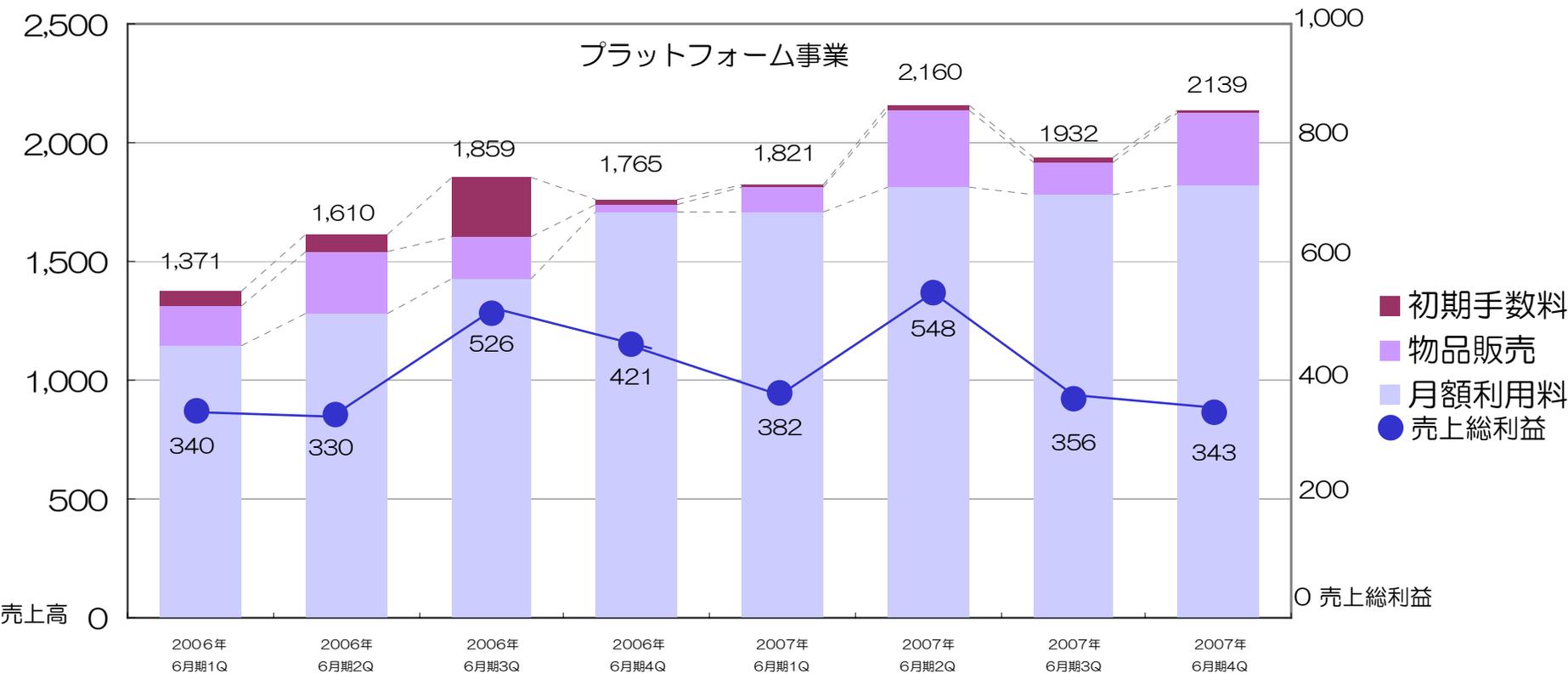


スペースサービスの初期手数料減。

売上高/売上総利益推移

(単位:百万円)

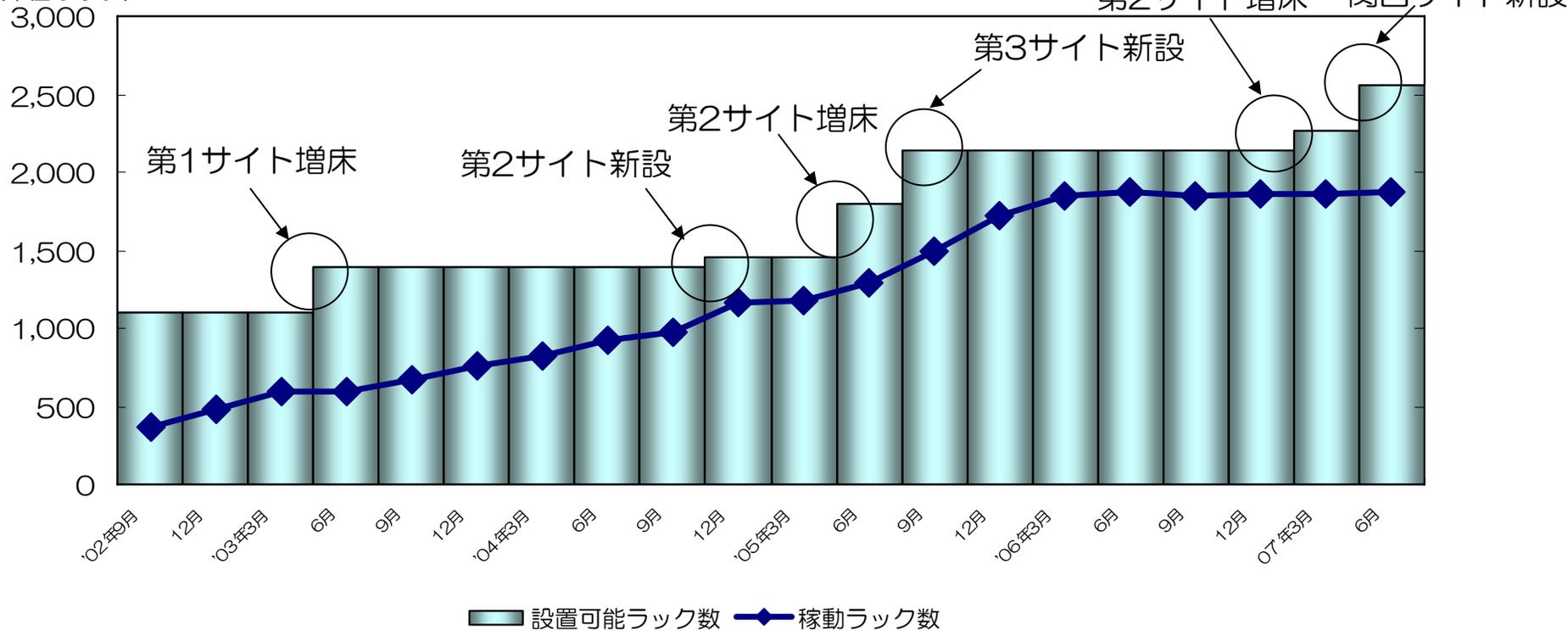
プラットフォーム事業



ラック数推移

今期は第2サイト（120ラック）増床、及び関西サイトを（300ラック）を新設。

(単位:ラック)



	'02年9月	12月	'03年3月	6月	9月	12月	'04年3月	6月	9月	12月	'05年3月	6月	9月	12月	'06年3月	6月	9月	12月	'07年3月	6月	
設置可能ラック数	1,095	1,095	1,095	1,393	1,393	1,393	1,393	1,393	1,393	1,459	1,459	1,799	2,141	2,141	2,141	2,141	2,141	2,141	2,141	2,261	2,561
稼動ラック数	366	481	593	601	672	759	823	925	971	1,166	1,175	1,287	1,495	1,717	1,846	1,872	1,850	1,867	1,857	1,887	
稼働率	33%	44%	54%	43%	48%	54%	59%	66%	70%	80%	81%	72%	70%	80%	86%	87%	86%	87%	82%	74%	

電源供給が可能なスペースを母数とした場合の稼働率は80%

セグメント別
メディアソリューション事業

メディアソリューション事業

前期売上高
688百万円

売上高265百万円
減収(38.5%減)

当期売上高
423百万円

(単位:百万円)

						前期実績	
	第1四半期 ('06/07~'06/9)	第2四半期 ('06/10~'06/12)	第3四半期 ('07/1~'07/3)	第4四半期 ('07/4~'07/6)	2007年6月期 ('06/07~'07/6)	2006年6月期 ('05/07~'06/6)	増減率
売上高	70	113	100	139	423	688	-38.5%
配信、Webマーケティング	25	70	22	32	150	618	-75.7%
BBF (連結対象子会社)	45	43	77	107	273	70	290.0%
売上総利益	12	27	21	41	102	169	-39.6%



↑ アパレル企業向けECシステム構築支援・運用サービスが順調に推移。



↓ 「ネットシネマ」事業の撤退に加え、Webマーケティング事業における市場競争が激化し、当社の優位性低下。

今後の事業展開について

エンタープライズ企業に変化が起きている

ITアウトソーシング

所有すること



利用することへ

2010年、
ITアウトソーシング市場は2兆5千億円
規模へ (出典:IDC Japan)

コアコンピタンス経営の推進

エンタープライズ2.0

Web 2.0



ビジネスの世界で拡大

API公開；無料・超短期開発

SaaS；アプリケーションのユーティリティ化

需要側

日本版SOX法
デジタルコンテンツの増加

- ・ファイルの保存
- ・サーバの統合
- ・セキュリティ強化
- ・災害対策

供給側

不動産価格の高騰
電源容量の不足

- ・都心のDC不足、2010年に30万平米不足 (出典:NRI)
- ・スペースがあっても電力容量不足で貸し出し不可能

需要増を価格に転嫁できるか!?

データセンター需要は高まるが、利益構造は変化しない

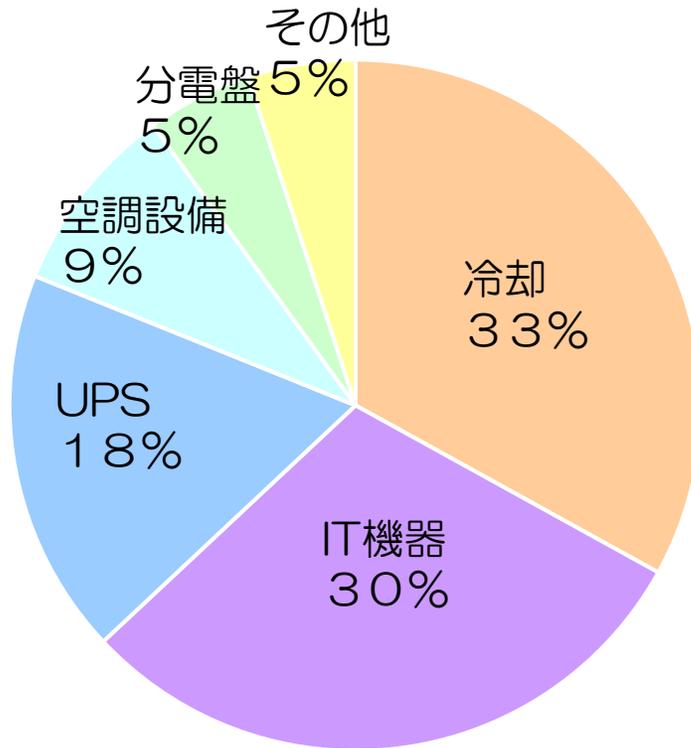


NO

データセンターが直面する問題

データセンタ消費電力内訳

(出典:APC)



サーバーの高密度化

サーバー数の増加

ラック当たり 10~20KVAへ

2000年	2KVA/ラック
2005年	4KVA/ラック
2006年	5KVA/ラック

抜本的な 省エネ対策が急務

仮想化への取り組み

仮想化ホスティングサービス
「Collective Hosting」により
投資コスト、運用コスト削減

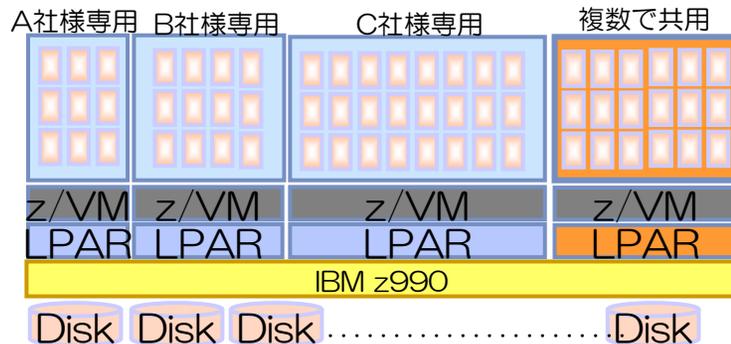


IBM zSeries

スペース20分の1

消費電源30分の1

仮想Linuxサーバー



供給電源のDC化

従前のAC電源からDC電源化へ

DC電源化によるメリット

DC給電化により「DC→AC」、
「AC→DC」の変換ロス削減

電源システム構成のシンプル化

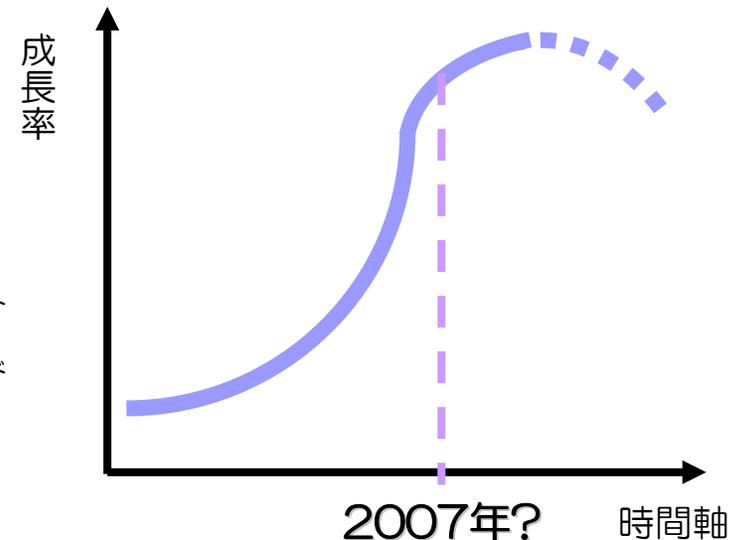
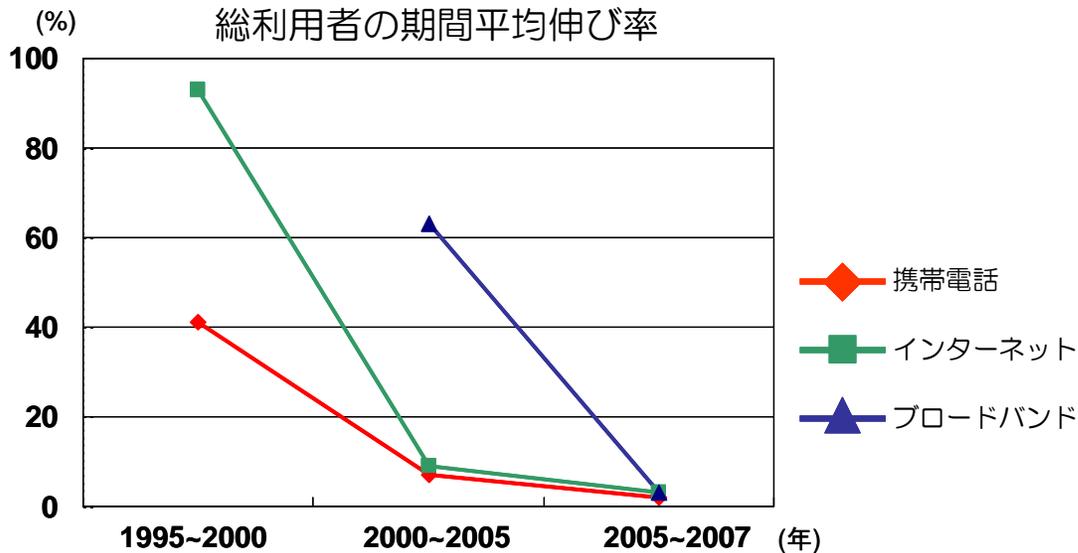
上記によりイニシャル・ランニ
ングコスト削減の実現が可能

ネット企業は乱立から淘汰の時代が予測される

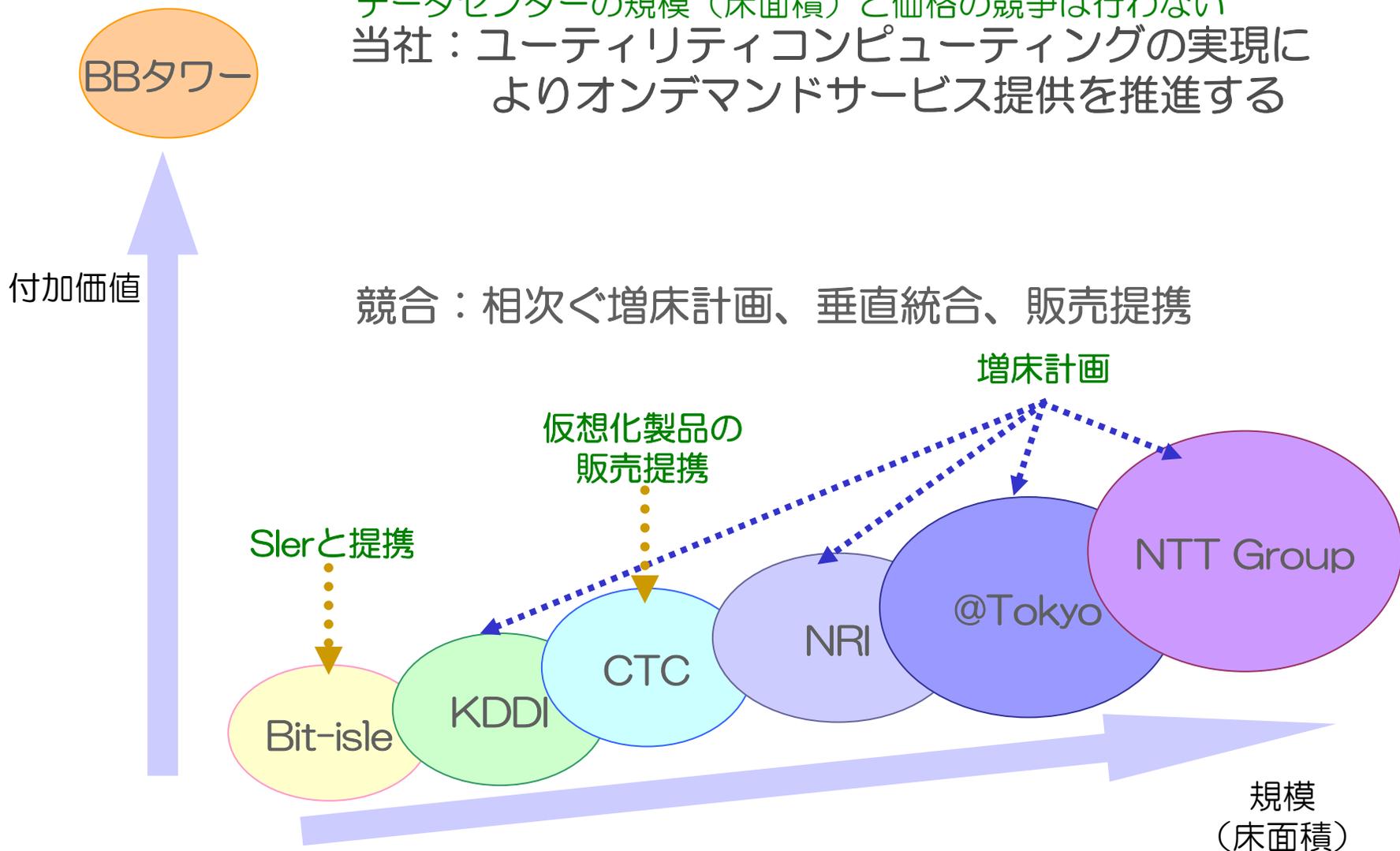
これまでの顧客基盤の成熟化

ブロードバンドは一挙に行き渡り、「ネットビジネスが既存市場を温存しつつ、新たな消費をもたらすことは至難の業」と言われている。

従来成功体験・共存共栄に危機感も必要な時期。



データセンターの規模（床面積）と価格の競争は行わない
当社：ユーティリティコンピューティングの実現によりオンデマンドサービス提供を推進する



根本的な課題を克服するための方策について

課題1

顧客リスクの軽減

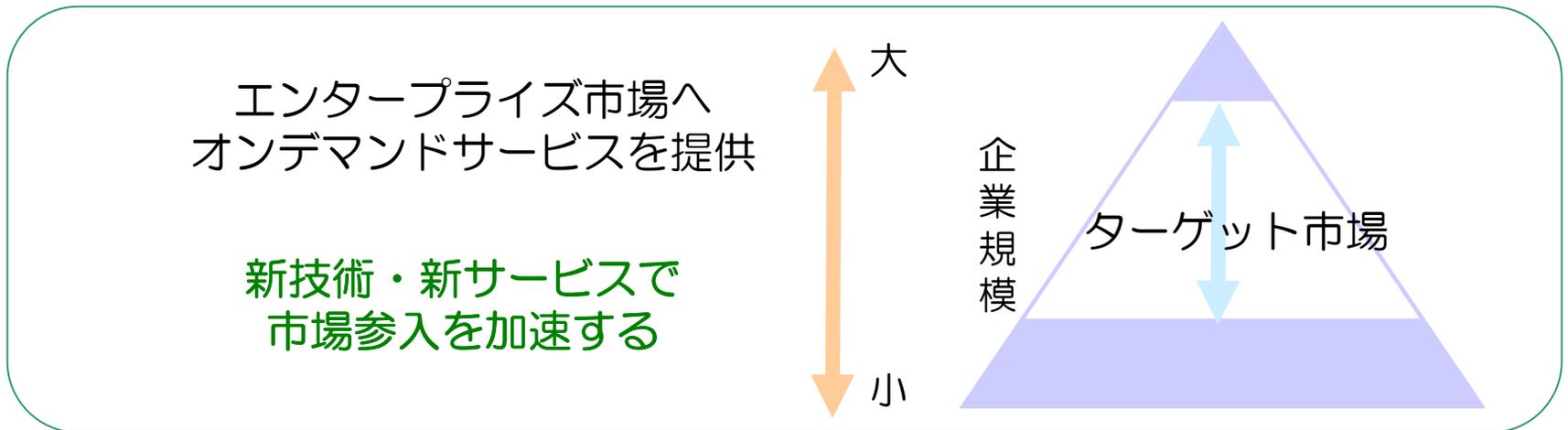
偏った顧客基盤の見直し

課題2

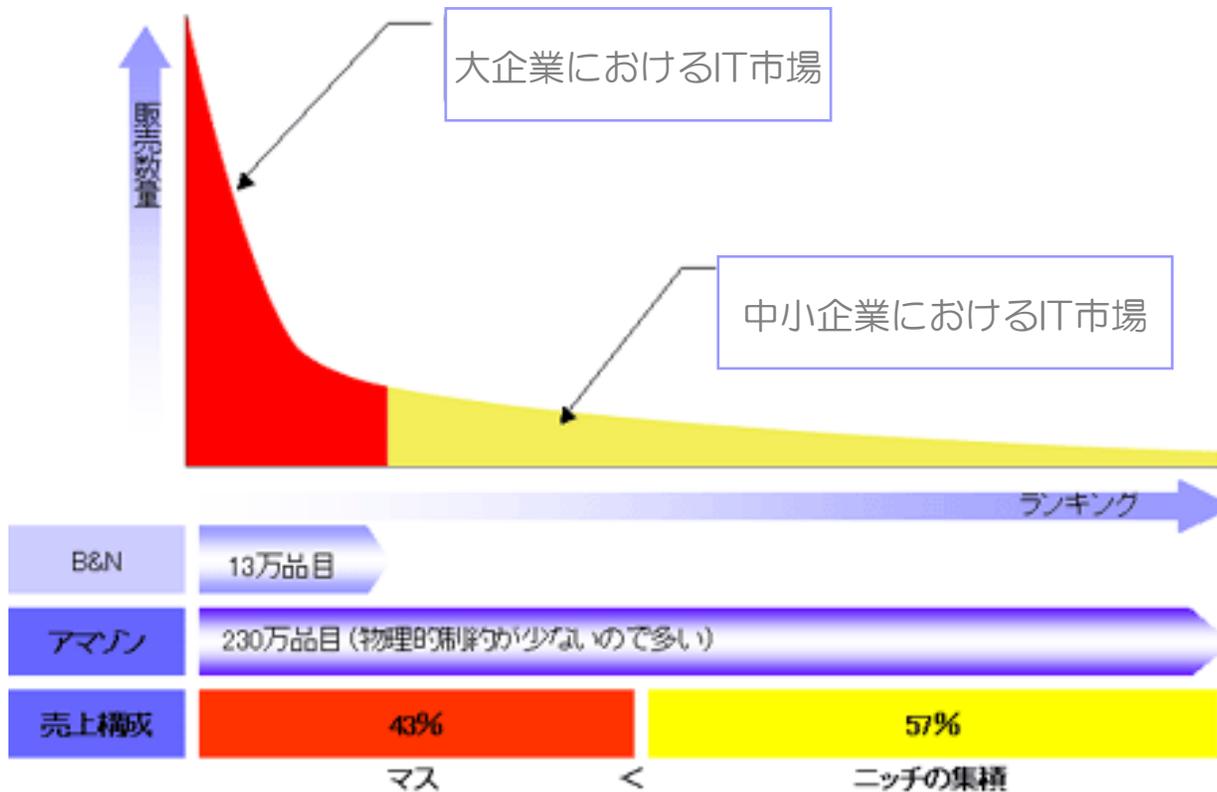
収益構造の転換

不動産型ビジネスから
ユーティリティコンピューティングへ

成長市場に進出



日本の企業数全体に占める中小企業数は99.7%である。



SaaSの登場で、ITリテラシーが低い中小企業にも本格的なIT革命が訪れる

廉価で判りやすいサービス提供が中小企業市場開拓の鍵

DCサービス利用状況（従業員規模別）

- 大企業には、Housing / Collective / Flex / Isilon
- 中堅以下には、Collective / Flex

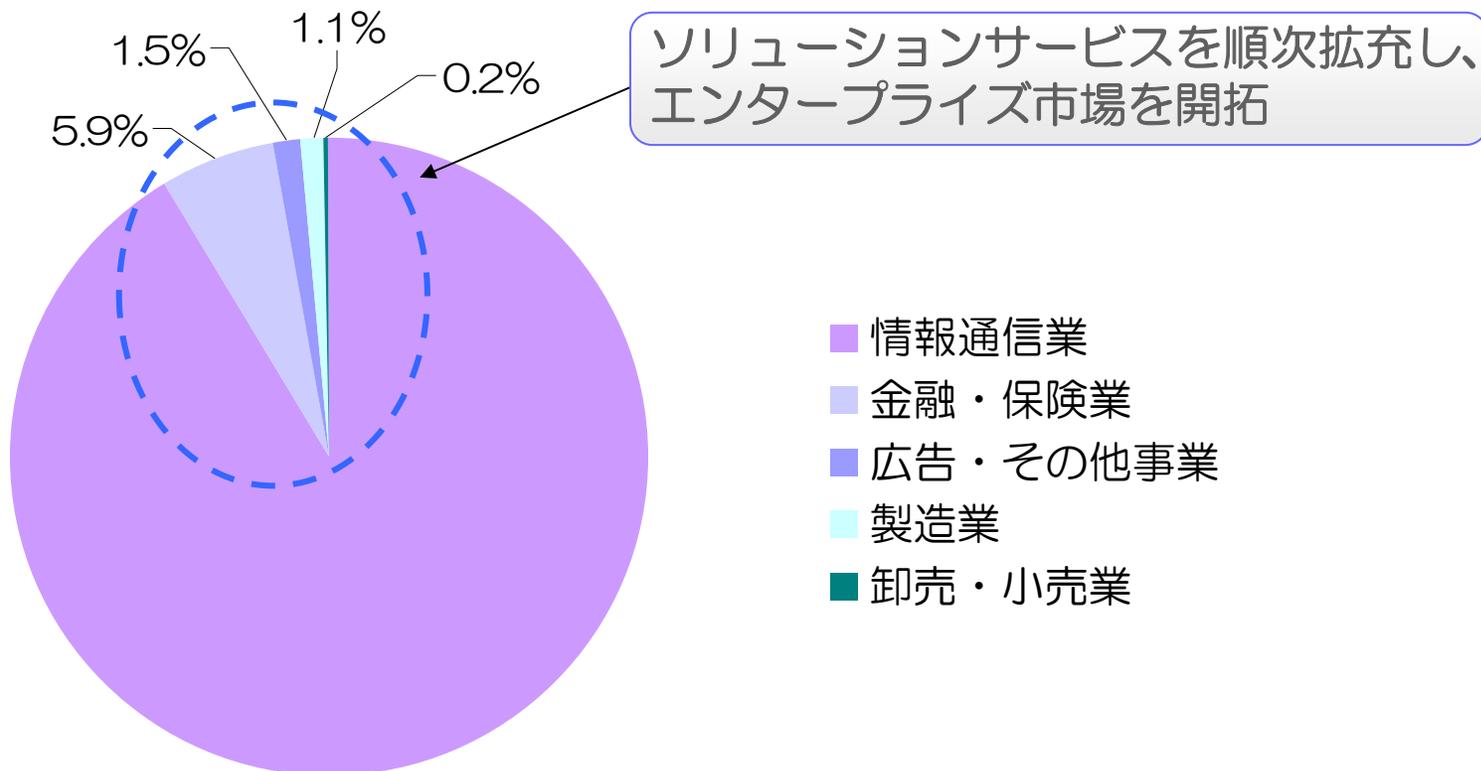
中小企業

大企業

(単位：%)

	~99人	100~ 299人	300~ 999人	1000~ 4999人	5000人 ~	全体
調査対象数	87	122	91	78	59	437
コロケーション	34.5	34.4	53.8	51.3	64.4	45.5
専有ホスティング	28.7	33.6	38.5	52.6	67.8	41.6
共有ホスティング (Mail)	67.8	64.8	60.4	41.0	52.5	58.6
共有ホスティング (Web)	73.6	66.4	60.4	50.0	52.5	61.8
共有ホスティング(その他)	5.7	10.7	13.2	3.8	1.7	7.8
バックアップ/ストレージ	33.3	29.5	35.2	50.0	67.8	40.3

(出典:IDCJapan)

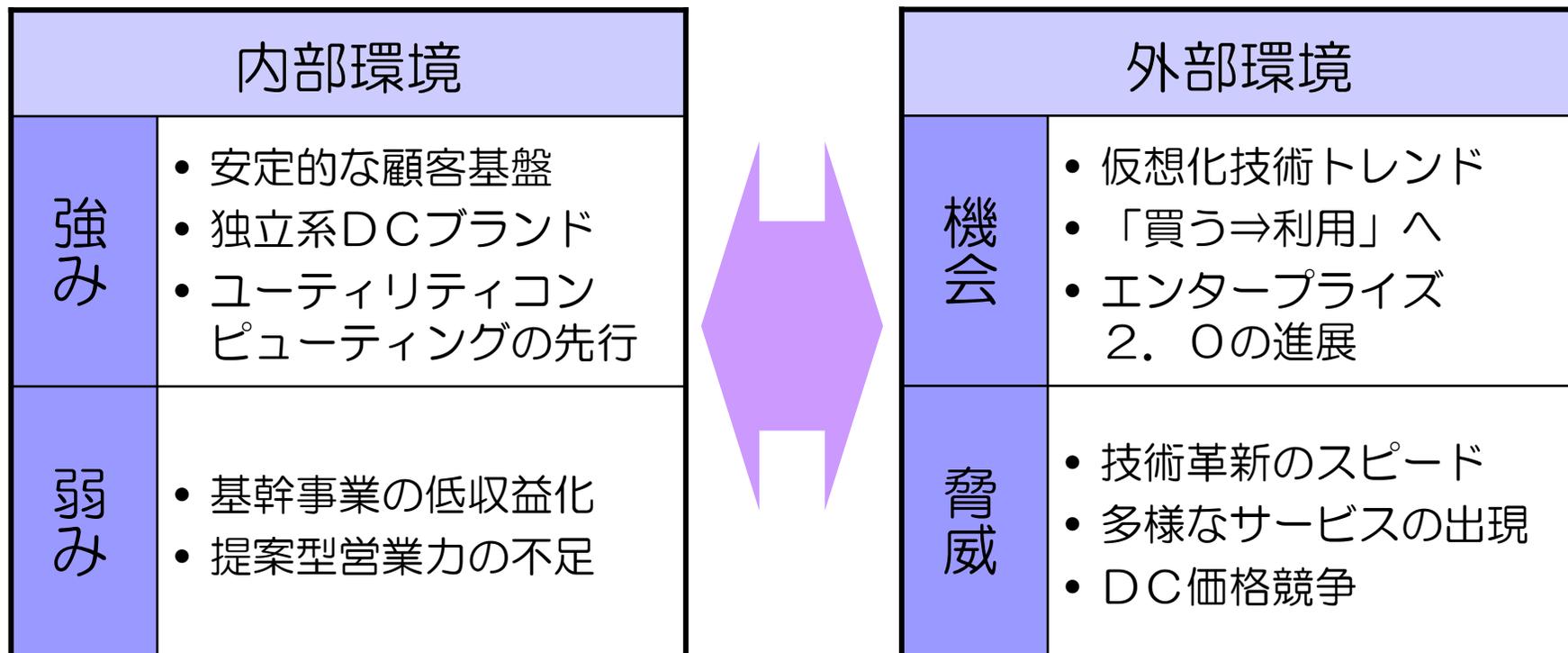


91.3% (売上高上位10社のうちの9社で88%を占める)

中期計画（基本戦略と目的）

エンタープライズ市場に、戦略パートナーと共に、新たな付加価値サービスを提供する

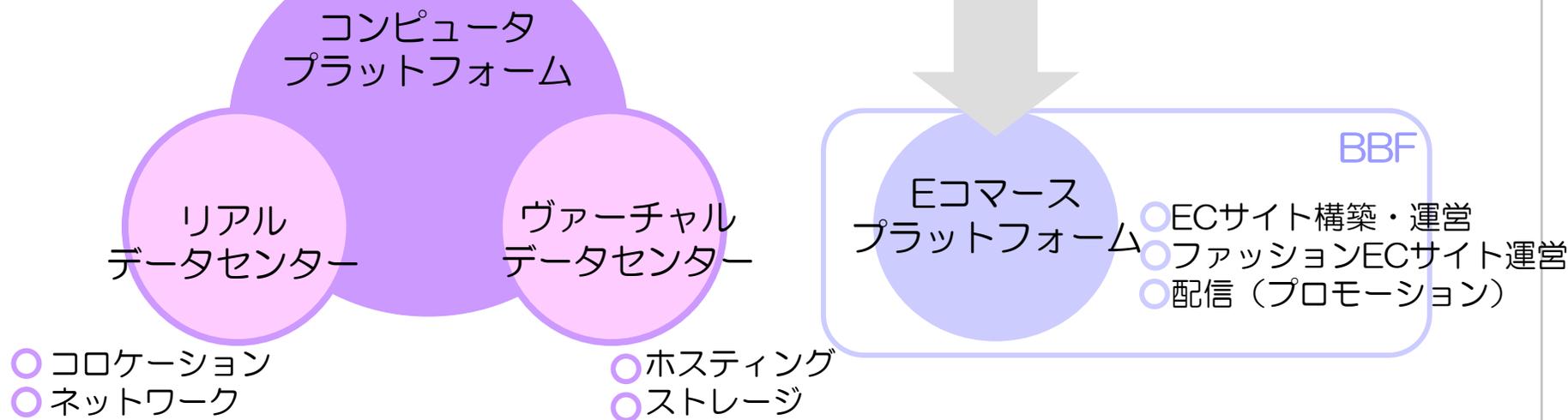
これにより、顧客基盤の拡大と収益構造の転換を図り、永続企業としての企業価値を高める



旧事業体系



新事業体系

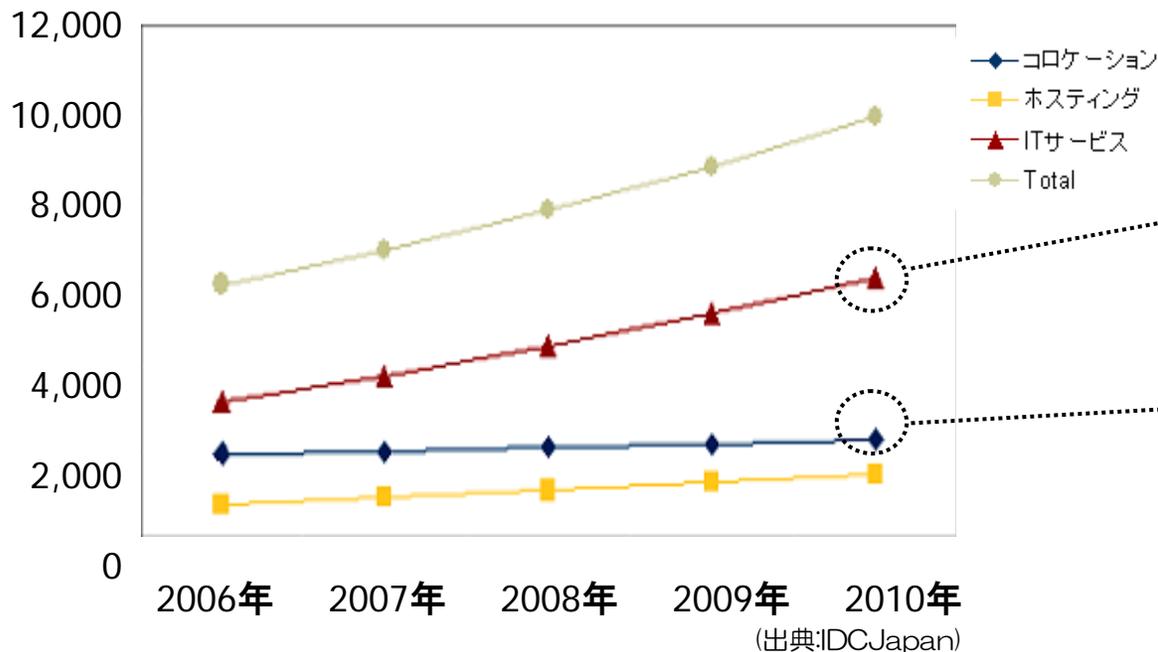


データセンター市場規模

企業は積極的に運用管理のアウトソースを活用。2010年の市場規模は約1兆円と、需要の拡大が予想される。今後も高い伸びが期待できる「ITサービス」市場をターゲットに、高付加価値なサービスの拡充と営業強化を図る。

国内データセンターサービス市場予測
(2006年～2010年)

(単位：億円)



ヴァーチャルデータセンター
・カスタマイズ型ホスティング
・サービスを付加したプロダクト
ターゲット



市場規模
拡大

ターゲット リアルデータセンター
・コロケーション
・ネットワーク

(1)

営業力の強化

企画・提案型営業へ

(2)

代理店網の確立

魅力あるサービスを活かした
代理店政策の確立

(3) 戦略パートナーとの 連携強化

市場参入を加速する営業力の強化
新技術・サービスの補完

- ・ ネットワンシステムズ
- ・ IRI/オリックスグループ
- ・ 技術志向のベンチャー企業群

ネットワークシステムズとの業務提携

両社におけるIPネットワーク技術やデータセンター運用ノウハウなど、豊富な経験と経営資源を相互に供与し、ITアウトソーシングサービスの開発を進める。

ニーズ / Trend

- ・ 管理/運用の
アウトソーシング

- ・ 日本版SOX, Compliance
- ・ パフォーマンス重視
- ・ BCP/BCM/CDP
- ・ サービス指向
- ・ Security
- ・ ECO

DCの抱える問題

- ・ スペース
- ・ 施設の老朽化
- ・ 熱対策
- ・ 収益率
- ・ 省電力
- ・ 競合過多

ネットワークシステムズ

- ・ 中立
- ・ NIカ
(product/service) /
IPネットワーク技術
- ・ XOC (運用センター)
- ・ QC / 物流センター
- ・ 知名度
- ・ 顧客基盤

BBTower

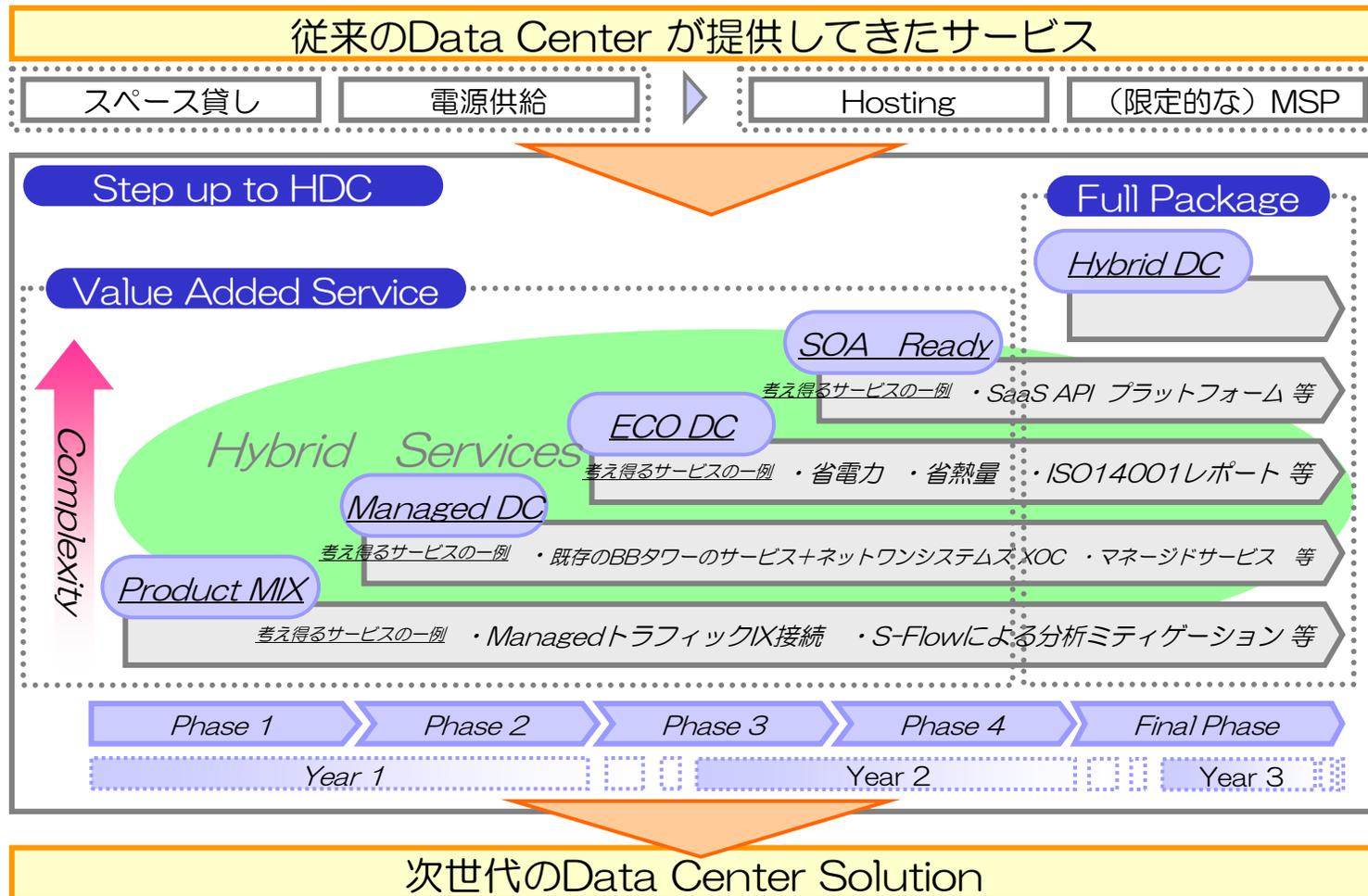
- ・ 中立
- ・ データセンターファシリ
ティ / 運用ノウハウ
- ・ Flex Hosting
- ・ Collective Hosting
- ・ 高速IX接続
- ・ ネット系ユーザー

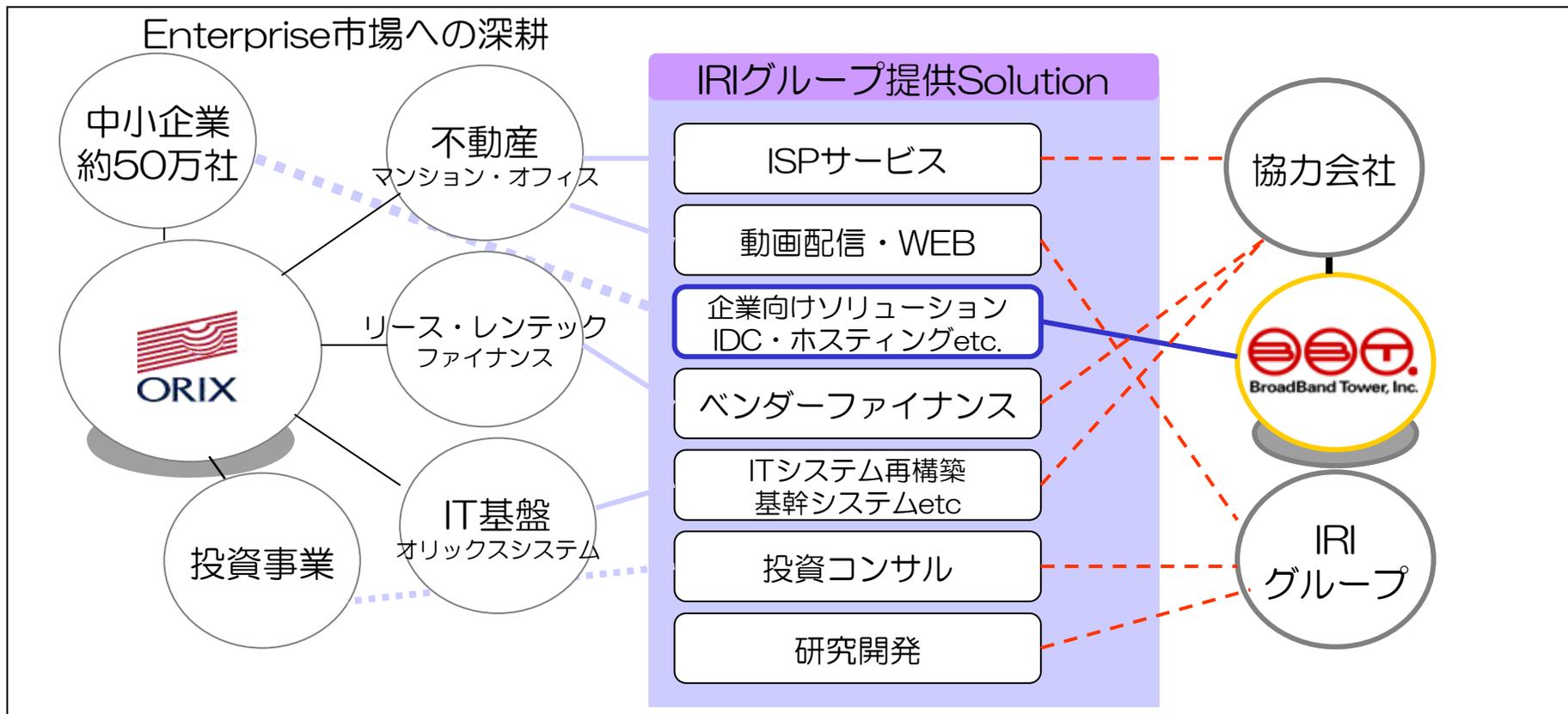
Synergy

エンタープライズ市場

Hybrid Data Center (HDC) 化への取組み

高付加価値なサービスを柔軟かつ総合的に提供できる次世代型データセンターを目指す。





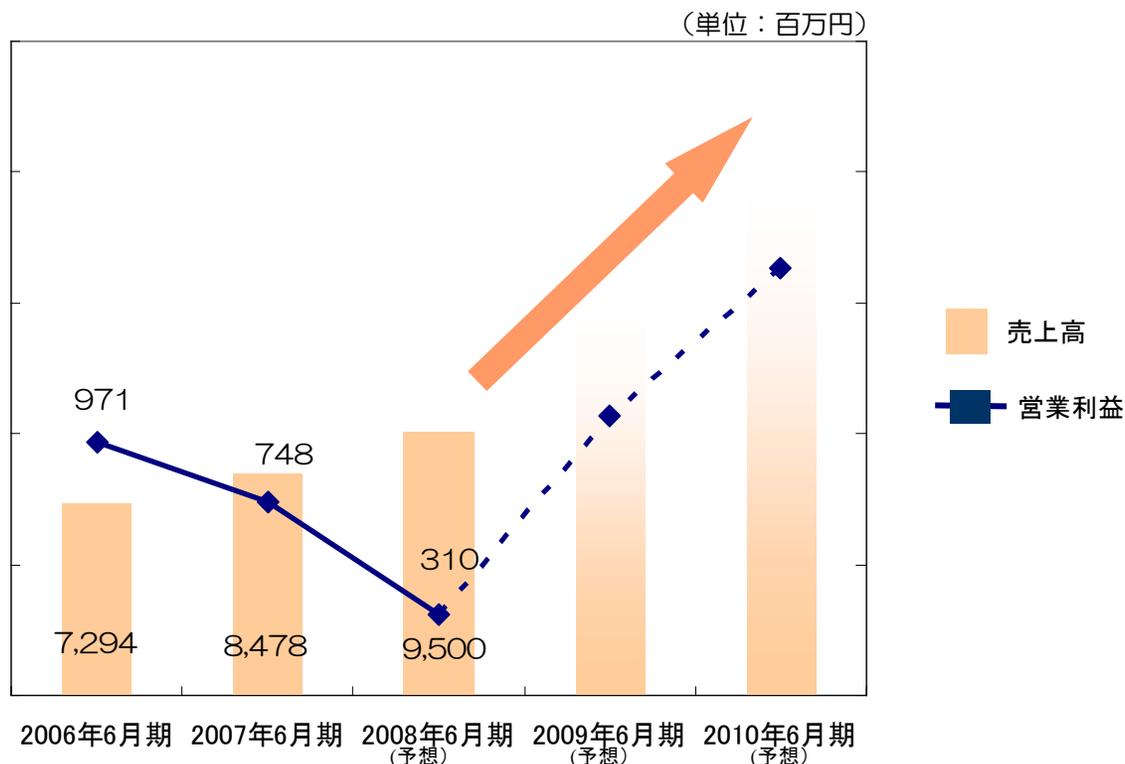
当社に期待される事柄

- ORIXグループに対するIT基盤（IDC・Hosting etc）提供
- ORIXグループが抱える企業顧客へのITサービス提供
- 新たなファイナンススキーム（IDC証券化・ベンダーファイナンス）の企画

2008年6月期業績予想（連結）
2007年7月～2008年6月

中期目標

- ✓前期から今期にかけては、ユーティリティコンピューティングへのステージアップに伴う踊り場。
- ✓安定した収益基盤を支えるデータセンターは引き続き堅調に推移。
- ✓来期以降に「Flex Hosting」や「Collective Hosting」などの高付加価値サービスや業務提携による利益面での成果を創出。



ヴァーチャルデータセンターの確立・成功により収益構造が改善

2008年6月期業績予想

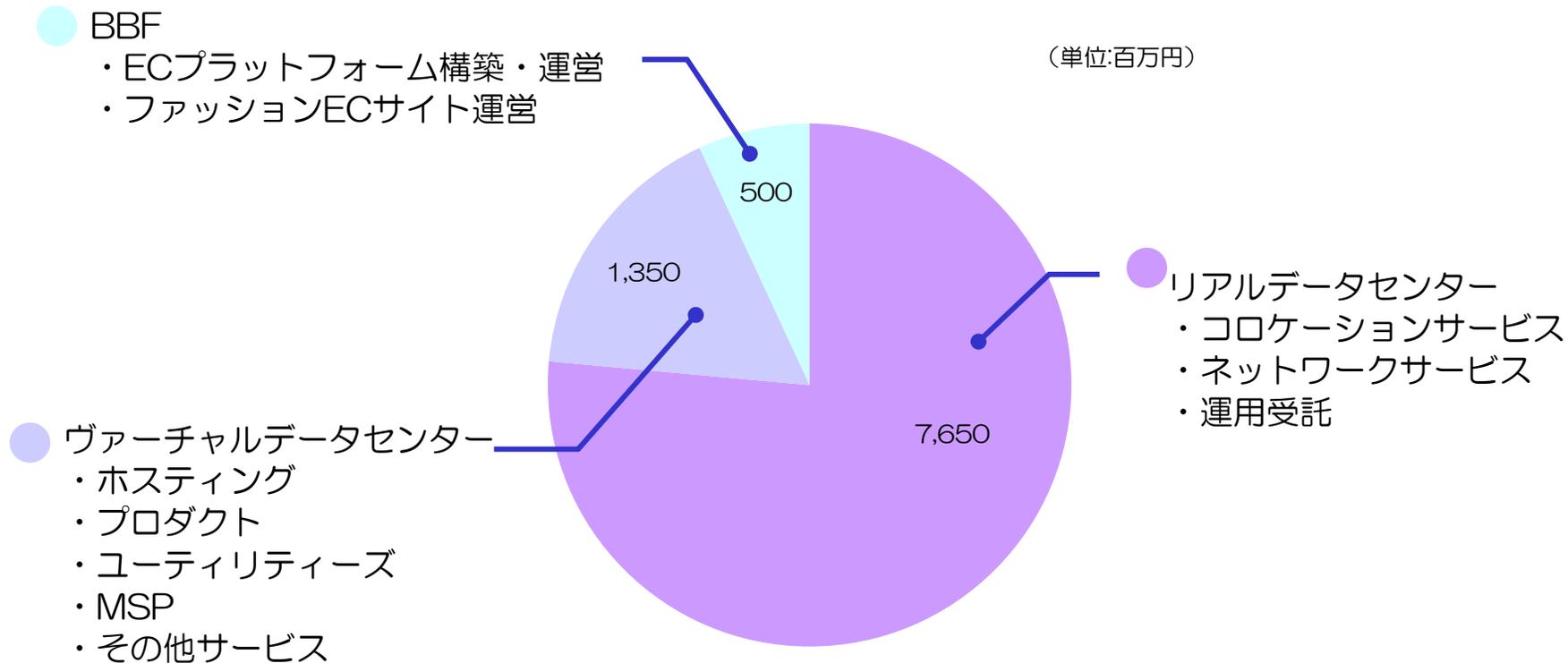
- ✓前期（2007年6月期）に開設した関西サイト及び第2サイトの増床に伴う売上増加。
- ✓前期よりサービスを開始したマネージドホスティングサービス「フレックスホスティング」及び「Isilon IQシリーズ」の売上増加。
- ✓賃貸借契約時より一定期間ディスカウントされていたサイト賃借料が通常の賃料に戻り固定費が増加。
- ✓関西サイト及び第2サイトの開設、増床に伴う費用が増加。
- ✓ネットワーク回線のマーケットプライスが下落。
- ✓データセンターの付加価値を高めるソリューションサービスの開発・提供に積極的に取り組み収益構造の改善を図る。

（単位:百万円）

	2008年6月期 ('07/07~'08/6)	2007年6月期 ('06/07~'07/6)	前期比増減率
売上高	9,500	8,478	12.1%
リアルデータセンター	7,650	※ -	-
ヴァーチャルデータセンター	1,350	※ -	-
BBF	500	281	77.9%
営業利益	310	748	-58.6%
当期純利益	120	1,444	-91.7%

※当期よりセグメントを変更しております

2008年6月期業績予想(セグメント別)



(単位:百万円)

	2008年6月期 ('07/07~'08/6)	2007年6月期 ('06/07~'07/6)	増減額
設備投資	800	1,965	-1,165
減価償却費	560	412	148

主な設備投資の内訳

- ・ 関西サイト顧客収容工事
- ・ 入退館システム工事
- ・ 電源監視システム改修
- ・ ネットワーク機器
- ・ 運用受託 など

ご参考資料

会社名

株式会社ブロードバンドタワー

設立

2000年2月9日

所在地

東京都港区赤坂4丁目2-6 住友不動産新赤坂ビル7F

資本金

2,245,030千円 (2007年6月末)

事業内容

プラットフォーム事業

メディアソリューション事業

代表者

代表取締役会長 大和田 廣樹

代表取締役社長 中村 高根

売上高

84.7億円(2007年6月期)

発行済株式総数

97,925株(2007年6月末) ※自己株式6,880株を含む

株主数

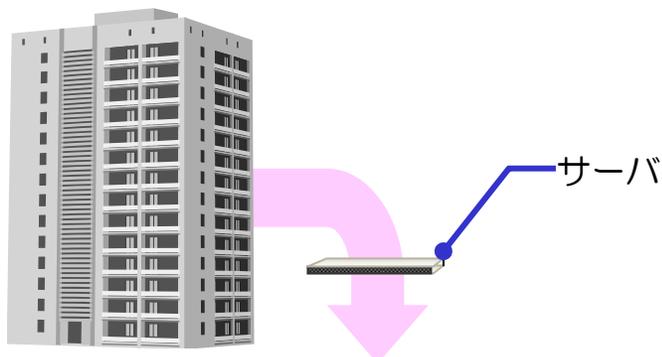
7,418名(2007年6月末)

従業員数

79名(2007年6月末)

- 2000年 2月 グローバルセンター・ジャパン株式会社設立
- 2000年 4月 「虎ノ門サイト」サービスイン（第一サイトへ統合）
- 2000年 7月 「第一サイト」オープン
- 2001年11月 「JPIX第2大手町サイト」オープン
- 2002年 4月 株式会社ブロードバンドタワーに社名変更
- 2004年11月 「第二サイト」オープン
- 2005年 8月 大阪証券取引所「ヘラクレス」へ上場
- 9月 「第三サイト」オープン
- 10月 インフォリスクマネージ株式会社と資本業務提携
- 10月 連結対象子会社 株式会社BBF設立
- 2006年 3月 西日本地区で国内最大級のデータセンター運用を受託
- 10月 株式会社ブロードバンドタワーを存続会社とする吸収合併方式で株式会社ブロードバンドタワーPE（旧インデックスソリューションズPE）を吸収
- 10月 アイシロン・システムズ社製品「ISILON IQ」の販売代理店契約締結、販売開始
- 2007年 1月 マネージドホスティングサービス「Flex Hosting」の販売開始
- 2007年 3月 「第二サイト」増床
- 2007年 5月 仮想ホスティングサービス「Collective Hosting」の販売開始
- 2007年 6月 「関西サイト」オープン
- 2007年 6月 ネットワンシステムズ株式会社と業務提携

データセンター事業の概要

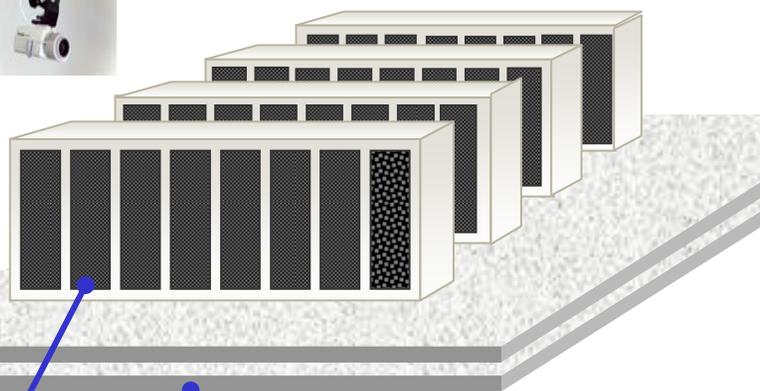


企業のサーバをお預かりし、安定した運用サービスとネットワーク接続サービスを提供

監視カメラ



ゲージスペース



ネットワーク接続



ラックスペース

ラック

二重床・床下空調システム



24時間有人監視

	企業群	特長
サーバ専用系	ブロードバンドタワー、 ビットアイル、 メディアエクステンジ @TOKYO（東京電力）	<ul style="list-style-type: none">大規模事業者中心電力消費大需要>供給
メーカー系	IBM、富士通、NEC	<ul style="list-style-type: none">都心より郊外型ハードウェアの縛りあり
Sier系	CTC、TIS	<ul style="list-style-type: none">バックボーンネットワークのキャパシティ
通信事業者系	NTT、KDDI、 ソフトバンクIDC	<ul style="list-style-type: none">通信事業者向けのため、 サーバには不向き通信サービスとのバンドル 必需